

# 評価委員会会議

## 評価委員会

日 時：平成27年1月20日（火）

書面会議

### 1. 報告事項

平成24・25年度2年間の取組実施状況とその成果について

### 2. 協議事項

平成26年度の取組の評価について

### 中間評価結果

評価委員会では、丸山徹評価委員長のもと7項目について以下の3段階の評価基準で評価を実施。

【 評価基準 S（当初予定以上）、A（当初予定通り）、B（当初予定以下） 】

#### 在宅医療・福祉コンソーシアム長崎評価委員会ピアレビュー

（第2回中間評価：平成26年度）

評価委員長 丸山 徹

平成26年度の在宅医療・福祉コンソーシアム長崎の大学間連携共同教育推進事業取組の実施状況を点検するため、前回（平成25年度）の評価委員会の折りに協議したとおり、平成27年1月20日付け送付資料に基づく書面会議にて第2回目の評価委員会を開催した。

評価項目は、①本部委員会・推進委員会・運営委員会の各種委員会の定期的な開催、並びに事業推進計画の打合せを行う作業会議の頻繁な開催による実行性ある連携教育を展開するための体制強化、②広報活動・成果発表・情報発信の継続及び広報実施のあり方の検討、③低学年向け合同授業（講義）5科目及び高学年向け合同授業（講義・演習）2科目の継続開講、並びに新規3科目の「NICEキャンパス長崎」への科目登録・開講、④低学年向け合同実習2科目の継続開講、並びにトライアルした高学年向け合同実習1科目の「NICEキャンパス長崎」への科目登録・開講、⑤本事業活動の情報発信を目的としたフォーラム等の開催、⑥多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア教育に関する教育セミナー等の開催、⑦評価委員会による第2回中間評価の実施の7項目で、取組内容に対するコンソーシアム側の自己評価資料（「平成26年度1年間の取組実施状況とその成果」及び「自己評価付き評価シート」）を各評価委員が検討した結果に基づき、委員長としてのピアレビュー

をまとめた。①の組織運営体制については、在宅医療において全国的にその実績が高く評価されている認定NPO法人長崎在宅Dr.ネットが新たにコンソーシアムに加わり連携組織が拡充したことを高く評価する委員があり、自己評価（A）を超える結果であった（S（3名）、A（5名））。②～⑤の広報・情報発信体制、大学間単位互換科目開発、並びにフォーラム開催といった本取組推進の中核にあたる項目については、全て同様に、計画のとおり着実に実行されているとの意見が多かったが、予定以上の成果が得られているとの意見もあり、これら4項目については自己評価（A）を超えるS評価を付けた委員もいた（S（1名）、A（7名））。個別意見としては、1）マルチチャンネルによる広報が実施されている、2）科目数が増え、多数の学生が履修している、特に低学年向けと高学年向けに別の実習科目を開講している、3）情報発信を目的としたフォーラムへ多数の市民が参加しているのがすごい、という高評価の意見があった。また、その一方で、4）広報については種々の試みがなされているが、その成果を何らかの形で点検すべきではないか？、5）多数の学生が授業へ参加していることは評価できるが、科目によっては履修者が少ない科目もある。また、実習に医学生の参加がないことは教育効果を下げってしまうので次年度以降は医学生の参加を増やすことが課題であるという提言が示された。⑥については、当初の予定通りに実施されていることから、全員一致で自己評価（A）と同じ結果が提示された。⑦については、前回の評価委員会の協議結果のとおり書面会議が開催されたため、自己評価とほぼ同等の結果であった（A（7名）、記載なし（1名））。また、今回の送付資料の中に、前回の評価委員会ピアレビューの内容に基づいた工夫・改善点が記されていたことは、本評価委員会の提言を真摯に受け止め、コンソーシアムの事業実施計画を改善しようとしている姿勢がうかがえて好印象であった。

以上示したように、平成26年度の実績については、全ての項目について、当初予定のとおりあるいは予定以上に実施されていることを確認することができた。また、次年度の事業計画内容が妥当であると判断した。平成26年10月より本プロジェクトの事業推進責任者が長崎大学の松坂理事・副学長（教学担当）へ引き継がれ、すでに連携3大学では支援期間終了後の取組継続を見据えた活動を開始している。これから2年間の取組の更なる展開を大いに期待したい。

自己点検ならびに評価結果

平成26年度	実施状況（平成26年12月現在）	自己評価	評価結果
<p>本部委員会・推進委員会・運営委員会の各種委員会の定期的な開催、並びに事業推進計画の打合せを行う作業会議の頻繁な開催による実行性ある連携教育を展開するための体制強化</p>	<p>平成26年4月から認定NPO法人長崎在宅Dr.ネットが新たな連携組織として加わり、3大学4自治体12職能団体1法人の連携組織へと拡充した。 定期的に本部委員会（2回）・推進委員会（2回）・運営委員会（6回）を開催した。 代表校と連携校に配置している本プログラムの専従教育職員らが事業推進計画の打合せを行う作業会議を毎月1回以上開催し、実効性のある連携教育を展開した。 代表校と連携校に設置しているテレビ会議システムを活用し、事業進捗状況に関する事務局とサテライト事務局間の打合せ会議を連日実施した。</p> <p><b>【平成26年度】</b> <b>【本部委員会】</b> 第1回本部委員会 出席総数 25名 ※第2回本部委員会、3月実施予定 <b>【推進委員会】</b> 第1回推進委員会 出席総数 27名 ※第2回推進委員会、2月実施予定 <b>【運営委員会】</b> 第1回運営委員会 出席総数 14名 第2回運営委員会 出席総数 15名 第3回運営委員会 出席総数 10名 第4回運営委員会 メール会議 18名 ※第5回運営委員会 1月実施予定 ※第6回運営委員会 2月実施予定</p>	A	<p>S：3名 A：5名 B：0名</p>
<p>広報活動・成果発表・情報発信の継続及び広報実施のあり方の検討</p>	<p><b>【広報システム】</b> 平成24年12月に立ち上げたホームページでは活動内容掲載を迅速に更新することで、社会に向けた広報体制を強化した。 <b>【広報活動】</b> 長崎市運営の無料掲示板で広告するとともに公共施設（図書館等）でチラシ配布等を行った。 <b>【成果発表】</b> &lt;平成26年度&gt; 第46回日本医学教育学会大会（平成26年7月、和歌山） 第7回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（平成26年9月、新潟） 千葉大学主催「実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム」シンポジウム（平成26年9月、千葉） <b>【活動報告書】</b> 平成26年度年間活動報告書現在作成中</p>	A	<p>S：1名 A：7名 B：0名</p>
<p>低学年向け合同授業（講義）5科目及び高学年向け合同授業（講義・演習）2科目の継続開講、並びに新規3科目の「NICEキャンパス長崎」への科目登録・開講</p>	<p>平成26年度は、平成25年度に登録・開講した低学年向け合同授業（講義）5科目と、高学年向け合同授業（講義・演習）2科目の合計7科目を、引き続きカリキュラムを改善し継続して実施した。加えて新たに低学年向け合同授業（講義）1科目と高学年向け合同授業（講義・演習）2科目の合計3科目を「NICEキャンパス長崎」に科目登録し、3大学でそれぞれ開講した。</p> <p><b>【低学年向け合同授業（講義）】</b> ①「在宅がん治療概論」 （長崎大学、講義、1単位） 履修生：20名、聴講生・社会人：14名 ②「在宅ケア概論」 （長崎大学、講義、2単位） 履修生：9名、聴講生・社会人：11名</p>	A	<p>S：1名 A：7名 B：0名</p>

平成26年度	実施状況（平成26年12月現在）	自己評価	評価結果																
	<p>③「在宅緩和ケア概論」 （長崎県立大学、講義、2単位） 履修生：14名、聴講生・社会人：1名</p> <p>④「在宅看護論」 履修生：65名</p> <p>⑤「在宅医療概論」 （長崎国際大学、講義、2単位） 履修生：75名、聴講生・社会人：2名</p> <p>⑥「地域包括ケア概論」 （長崎国際大学、講義、2単位） 履修生：12名、聴講生・社会人：11名</p> <p><b>【高学年向け合同授業（講義・演習）】</b></p> <p>⑦「薬物治療実践学」 （長崎大学、講義、1単位） 履修生：50名</p> <p>⑧「在宅がん治療特論」 （長崎大学、演習、1単位） 履修生：6名、聴講生・社会人：4名</p> <p>⑨「在宅緩和ケア特論」 （長崎県立大学、演習、1単位） 履修生：11名、聴講生・社会人：3名</p> <p>⑩「地域包括ケア特論」 （長崎国際大学、演習、1単位） 履修生：7名、聴講生・社会人：2名</p>																		
<p>低学年向け合同実習2科目の継続開講、並びにトライアルした高学年向け合同実習1科目の「NICEキャンパス長崎」への科目登録・開講</p>	<p>平成26年度は、平成25年度に「NICEキャンパス長崎」に登録・開講した低学年向け合同実習2科目を、引き続きカリキュラムを改善し、3大学・全連携学部が合同で夏季休暇中に開講した。なお、平成25年度に引き続き、連携3大学以外の大学からの履修生もあった。加えて平成24・25年度にトライアルした高学年向け合同実習科目として「NICEキャンパス長崎」に登録し、3大学・全連携学部が合同で夏季休暇中に開講した。</p> <p><b>【低学年向け合同実習】</b></p> <p>①「在宅チーム医療早期体験学習」 長崎大学、合宿型実習2日間、実習施設：訪問看護ステーション・薬局/在宅療養在宅への居宅訪問を含む、1単位 履修生：40名</p> <table border="1" data-bbox="400 1554 1206 1693"> <tr> <td>長崎大学</td> <td>医学部（保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎県立大学</td> <td>看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎国際大学</td> <td>薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）</td> </tr> <tr> <td>活水女子大学</td> <td>看護学部（看護学科）</td> </tr> </table> <p>②「地域包括ケア早期体験学習」 長崎大学、実習2日間、実習施設：地域包括支援センター/在宅療養者宅への居宅訪問を含む、1単位 履修生：30名</p> <table border="1" data-bbox="400 1888 1206 2018"> <tr> <td>長崎大学</td> <td>医学部（保健学科）、薬学部（薬学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎県立大学</td> <td>看護栄養学部（看護学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎国際大学</td> <td>薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）</td> </tr> <tr> <td>活水女子大学</td> <td>看護学部（看護学科）</td> </tr> </table>	長崎大学	医学部（保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）	長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）	長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）	活水女子大学	看護学部（看護学科）	長崎大学	医学部（保健学科）、薬学部（薬学科）	長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科）	長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）	活水女子大学	看護学部（看護学科）	<p>A</p>	<p>S：1名 A：7名 B：0名</p>
長崎大学	医学部（保健学科）、歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）																		
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科・栄養健康学科）																		
長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）																		
活水女子大学	看護学部（看護学科）																		
長崎大学	医学部（保健学科）、薬学部（薬学科）																		
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科）																		
長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）																		
活水女子大学	看護学部（看護学科）																		

平成26年度	実施状況（平成26年12月現在）	自己評価	評価結果										
	<p><b>【高学年向け合同実習】</b>  <b>③「在宅がん医療・緩和ケア実習」</b>  長崎大学、実習（3日間）、実習施設：長崎大学病院・在宅療養支援診療所・在宅療養支援歯科診療所/在宅療養者宅への居宅訪問を含む、2単位）  履修生：25名</p> <table border="1" data-bbox="405 474 1209 636"> <tr> <td>長崎大学</td> <td>歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎県立大学</td> <td>看護栄養学部（看護学科）</td> </tr> <tr> <td>長崎国際大学</td> <td>薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人間社会学部（社会福祉学科）</td> </tr> <tr> <td>活水女子大学</td> <td>看護学部（看護学科）</td> </tr> </table>	長崎大学	歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）	長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科）	長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）		人間社会学部（社会福祉学科）	活水女子大学	看護学部（看護学科）		
長崎大学	歯学部（歯学科）、薬学部（薬学科）												
長崎県立大学	看護栄養学部（看護学科）												
長崎国際大学	薬学部（薬学科）、健康管理学部（健康栄養学科）												
	人間社会学部（社会福祉学科）												
活水女子大学	看護学部（看護学科）												
<p>本事業活動の情報発信を目的としたフォーラム等の開催</p>	<p>平成26年度は3大学が合同で、長崎県民フォーラムを、長崎地区・佐世保地区で計3回開催した。</p> <p><b>【第1回長崎県民フォーラム】</b>  テーマ：考えよう!これからの在宅ケアを  日時：平成26年7月5日（土）14：00～16：00  会場：長崎大学 文教スカイホール  参加総数：118名  取組紹介「長崎県における訪問リハビリテーションの状況報告」  公益社団法人 長崎県理学療法士協会 清水 章宏  特悦講演「在宅ケアを支える訪問リハビリテーション」  一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会副会長 宮田 昌司</p> <p><b>【第2回長崎県民フォーラム】</b>  テーマ：考えよう!これからの在宅ケアを  日時：平成26年10月4日（土）13：30～15：30  会場：アルカスSASEBO  参加総数：138名  講演① 「自宅で選ぶケア! 地域包括支援センターから見えるそれぞれの形」  佐世保市相浦地区地域包括支援センターセンター長 長塚 弘章  講演② 「これからの在宅ケアのあるべき姿」  長崎大学 理事 副学長 松坂 誠應</p> <p><b>【第3回長崎県民フォーラム】</b>  テーマ：考えよう!これからの在宅がんケアを  日時：平成26年12月6日（土）14：00～16：00  会場：長崎大学中部講堂  参加定員：225名  特別講演 「がん・認知症とともにこれからを生きる、私や家族の選択、そしてその先にあるもの…」  長尾クリニック院長 長尾 和宏</p>	A	<p>S：1名  A：7名  B：0名</p>										
<p>多職種協働による在宅がん医療・緩和ケア教育に関する教育セミナー等の開催</p>	<p><b>【平成26年度】</b>  第1回教育セミナー（平成26年4月、長崎大学） 参加総数 20名（教員7名、学生14名）</p>	A	<p>S：0名  A：8名  B：0名</p>										
<p>プログラム評価委員会による第2回中間評価の実施</p>	<p>平成26年1月に開催された第1回中間評価委員会の審議結果に基づき、取組3年目の平成27年1月に、第2回中間評価委員会を書面会議にて開催予定</p>	A	<p>S：0名  A：7名  B：0名  記載なし  1名</p>										